

子には新しい芽が吹いている。そんな教えです。

本会90年の歴史は正しく先人が愛しみ育ててきた根っ子です、そして公益社団法人という国の芸能文化を支えているという誇りが私達の次の世代に伝達する矜持です。2021年は、干支では辛丑かのとうしの歳であり、土の中で種が眠る状態で、植物の芽が種の中でまだ伸びることが出来ない状態だそうです。十干の「辛」は、痛みを伴う、つらい、からいの意味があり「辛抱」という字にも使われていますが、このつらさを超えて万物が一新する事を指すとも言われています。十二支の「丑」の字は「丑は紐なり」と言われ紐が絡んでいるような状態だといえます。つまり、才能や運氣がまだ眠っているが、やがては伸びてくるということでもあります。私たちにも当面はつらいことが多く複雑な絡みが解けない状態が続きますが、この事態を正しく認識し、志を捨てず、心を合わせて組織の根っ子をしっかりと守り養生していくことに全力を傾注

して参りましょう。

「年頭、まず自ら意気を新たにすべし」、怖おめず臆せず堂々と進んでいきたいものであります。コロナウィルスは、今後も身近な存在として私達の周辺に居座ります。総本部はこのコロナ禍の中でコロナと共存しながらいかに乗り切るか、いかに詩歌吟詠・普及活動を行うか、「自律自助の精神」で全知全能を絞って取り組んでまいります。

特に当面は関西吟詩文化協会の組織を上げて各地区・各会・各支部と連携を深め、教場の一つ一つに目配りし夫々の悩み・問題解決に全力を注ぎたいと決意しています。根源は会員一人ひとり先行きへの不安・不信・不満の種を取り除きヤル気・情熱の火を消さないことだと考えています。皆様のご理解ご支援ご協力を切にお願い致します。

今年が皆さまにとって佳い年でありますようお願いいたします。

以上